

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：令和6年3月12日

事業所名：多機能型事業所ワンハート

配布数 11人 回収数 11人 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない わからない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	4		国の定めるスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切である	7	3	1	国の定める人員配置基準でスタッフ配置をしておりま す。看護師、保育士、理学療法士など経験と専門性を 備えたスタッフを配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮 が適切になされている	9	1	1	室内、トイレ、に手すりを設置。段差のないバリアフ リー化に努めています。トイレには垂直型の手すりを 設置し、福祉用具専門業者に設置・点検を行っていら だいております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	4		職員で話し合い、周知できるよう努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげている	8	3		保護者向け評価表を活用して保護者様の意向の把握 に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホーム ページ等で公開している	8	3		ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげている	4	7		現在は利用者様と社内の評価のみとなっております が、今後必要に応じて実施検討してまいります。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	8	3		内部研修及び外部研修への参加の機会を広く設けて います。内部研修を定期的に行い、職員の資質向上 に努めております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成している	10	1		保護者様と定期的に面談・アセスメントを行い、ニーズ に合わせた計画を職員間で会議を行ったうえで作成し ております。日々のケア記録を作成し参考にしてお ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標 準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	1	見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、 行動観察を記録し、支援計画を作成しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	3		ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を 言い、支援の仕方や活動の進め方等共有し、目標を 持って取り組むことを目指しております。子ども一人ひ とりのグループの特性に合わせたプログラム内容を計 画し、季節や達成度に合わせて変化させております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		月毎にある程度固定化することで能力の向上を目指 している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援している	9	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成 している	10	1		個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画 を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認している	7	3	1	活動の前後で職員ミーティングを行っております。始 まる前には利用者様の様子やプログラムの流れや支 援方法を確認し合い、終了後には常勤スタッフで支援 の振り返りを行い、記録し、それらを次のステップ アップや改善につなげるよう努めております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点 等を共有している	7	2	2	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげている	9	2		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサー ビス計画の見直しの必要性を判断している	10	1		年に2回以上支援計画の見直しを行っております。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	7	4		クッキングや製作、音楽活動等とおして成功体験を 積み、自己肯定感を高めたり、お友達と関わり、表現 する喜びを体験し、活動の中で自己選択する場面を 設けるなどして支援をさせていただいております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	9	2		開催される場合には児童発達支援管理責任者等の 適任者が出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っている	10	1		情報共有、連絡調整を適切に行えるように努めており ます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	3	1	医療的ケアが必要な児童の担当医師より、指示書を いただいております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めている	3	8		相談支援員を通して、保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等と情報共有に努めており ます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いる	8	3		依頼がある際には、情報共有に努めております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ている	2	7	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会がある	1	4	6	コロナ感染の懸念もあり、地域交流が難しい状況と なっております。感染状況や利用者様の状態に応じて 必要性があれば支援計画に位置付けたうえで考慮し ていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加してい る		8	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持つ ている	11			支援計画に沿った自立課題に取り組んでいただき、ご 本人の意欲や気持ちに合わせて活動に取り組んでい ただいております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ている	2	7	2	フィードバック時に対応方法などのアドバイスの機会 を設けております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っている	8	3		契約時にご説明させていただいております。また、随 時不明な点をご説明するようにしております。支援の 内容については支援計画でお知らせしたり、送迎時 にお伝えさせていただくようにしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	2		面談や送迎時、お電話等でお話しさせていただくよう にしております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援してい る		6	5	コロナ感染が懸念されたため、活動停止させていただ いております。今後は、感染状況に応じて保護者会 の他にイベント(BBQや運動会)を開催し、保護者様同 士の交流を高めていきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ている	11			苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげ迅 速かつ適切に対応するよう努めております。また、社 内での共有をはかります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	7	4		「株式会社波音」のホームページにて随時掲載させ ていただきます。また、InstagramやHUGにて発信させ ていただいております。
	35	個人情報に十分注意している	11			個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに 保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	10	1		わかりやすい伝達方法を工夫し、伝わる方法を児童 や保護者様に合わせて配慮しております。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	4	ハロウィンイベントでは地域のお店との交流やキッチンカーへ依頼し、交流の場を設けました。今後も地域の中の事業所として可能な形で事業運営に努めてまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	1	保護者様に向けてマニュアル等の情報の周知をはかります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2		年2回以上避難訓練を実施しています。消防隊員による救命訓練(基礎)を実施しております。避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修にスタッフが参加しております。また、BCP委員会を設置し議論・検討を行っております
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1		外部の研修にスタッフが参加したり、社内で虐待防止委員会を設置し、内部研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1		保護者様にはそれらを契約書に記載し説明しております。サービス計画の記載に関して、必要に応じて個別支援計画書の特記事項に記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1		保護者様から詳細に聞き取りを行い、個別に合わせたアレルギー表を作成しております。必要に応じて、医師にも確認していただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1		報告書に記載し、ミーティングを通してスタッフで共有しております。また虐待防止委員会での報告・検討等も行っております。